

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	武田の里ライフカレッジ支援事業	担当課	教育課
細分化した事業名	武田の里ライフカレッジ支援事業		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	武田の里ライフカレッジ設置要項

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	誰もが生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において、学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならないという生涯学習の理念に基づき、国際化・情報化・少子高齢化等、社会の急激な変化の中で、多様な学習者のニーズに応えるため、新しい時代の拓かれた大学として、男女共学の学びの場とすることを目的としています。
事業の手段	生涯学習担当とライフカレッジの学生の中から互選された運営委員により構成された運営委員会を設置し、大学の全てのことについて協議決定し、大学を運営します。 毎月1回平日昼間に開催し、午前はクラブ・同好会活動（書道、俳句、切絵、料理、手芸、陶芸、プリザーブドフラワー、パソコン、うた声）を実施し、午後は著名講師を招き、講演会を実施しています。 必要経費は、入学金・参加者負担金と市補助金でまかないます。
事業の対象	基本的には市内在住者で、この大学の趣旨に賛同される方を対象としますが、市外の方でも、この大学の趣旨に賛同する方であれば、市内在住者と同様に入学することができ、広域的な開かれた大学となっています。

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	2,201	2,307	1,967
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	2,201	2,307	1,967
B	担当職員数(職員E) (人)	0.18	0.18	0.24
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,227	1,204	1,558
D	総事業費(A+C) (千円)	3,428	3,511	3,525
主な事業費用の説明	上記事業費は、ライフカレッジへの補助金と会場使用料が主な内訳ですが、全体運営費は市補助金を含めた別会計で運営し、その中で講師謝金や、移動学習経費、事務経費等をまかなっています。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 開催講座数 (移動学習を含む)	講座回数(回)	12	12	12
	2 学生数	学生数(人)	567	580	611
	3 受講延人数 (移動学習を除く)	講座受講者数(人)	4,649	4,691	4,750
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	月1度の講座(移動学習を含む)で、運営委員会を中心に自主活動に努めています。			
	2	学生数は、その年によって多少上下しますが、最近は増加傾向にあります。			
	3	受講率算出の関係で移動学習は除いています。学生数の増加に伴い、受講延人数も増加しています。			

